

日本女子ソフトボールリーグで優勝を果たした大和電機工業=チーム提供

日本女子ソフトボールリーグ

大和電機工業 V 一丸で激闘制す



日本女子ソフトボールリーグは4、5、6日、順位決定節を茨城県の希望ヶ丘公園で開き、大和電機工業が6日の優勝決定戦で静甲を3-2(延長10回タイブレーカー)で下して優勝した。今季再編されたリーグの「初代女王」に輝き、主将の車亜紀子は「全員が同じ気持ちで、応援も含め、チーム大和電機工業で勝つことができた」と喜びを語った。

成長示し「初代女王」に

ブラチナセクション 甲との2戦目は0-2 2位の大和電機工業だったが、同2位のCは、まず各セクション上位2チームによる総当たり戦に臨んだ。初戦は今季同セクションで1勝1敗だったMORIAL WAVE 点差で1位になり、優勝決定戦へ進んだ。

E KANOYAに6-13で勝利。サファイアセクション1位の静甲との優勝決定戦は、7回まで互いに無

得点で8回から無二塁で始まるタイブレーカーに突入。大和電機工業は10回1死二、三塁から古賀藍奈の中前適時打で2点を勝ち越し、その裏の反撃をエース大串都未希が1点でしのぎ完投した。

【セクション1、2リーグ戦】
大和電機工業
100001106
000100003

MORIAL WAVE

KANOYA

(大)大串、斉藤、堀(M)
竹原、中野、谷川、▽本壘打、松林、上村(M)▽三壘打、原(大)▽二壘打、新海(大)西山(M)

大和電機工業

000000010
100000112

静甲

(大)斉藤、大串、堀(静)

山本、中尾、▽本壘打、田沼

(静)▽二壘打、本間(静)

Clutch - Chie

000000010

010000014

大和電機工業

(C)阿藤、山下、阿藤、林(大)大串、斉藤、堀、二壘打、小柳、新海(大)

【優勝決定戦】
大和電機工業

000000010213
00000001012

静甲

(延長10回タイブレーカー)

(大)大串、堀(静)山本、中尾、▽二壘打、本間(静)

静甲には、春のオープン戦で1-18、7月の全日本実業団選手権決勝は0-9と大敗していた。特に春の敗戦の悔しさが今季の原動力になったといい、大一番を制して成長を示した。就任4季目の杉野公英監督は「個の力では劣るが総力戦で戦い抜けた。選手は目標に向かって日々努力してくれた。感謝しかない」と振り返った。